



No.125
(2025/12/1)

編集・発行：**教 育 課**

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

ほうきょういんとう

堤の宝篋印塔(田並)

町指定文化財 建造物
昭和58年4月10日指定

今月号の表紙は田並地区にある「堤の宝篋印塔」です。

田並の西平見にあり、地蔵・五輪塔などと一緒に集められて祀られています。

いずれも砂岩製で、形式から見て室町中期以降の作品と推測されています。

第21回

串本町民音楽祭 出場者募集

第21回串本町民音楽祭の開催要項ができました。

町民音楽祭は様々なジャンルの音楽愛好者が、それぞれ趣向を凝らした演奏等を行い、観覧者を楽しませてくれます。

たくさんのご参加をお待ちしております。

開催要項、参加申し込みについては下記のとおりです。



趣旨

串本町の文化活動のひとつとして、町民各位の音楽鑑賞と発表の場を作り、より良い音楽活動と文化づくりに寄与する。

主催

串本町・串本町教育委員会
串本町音楽協会

日時

【器楽・合唱等の部】
令和8年3月1日(日)
午後1時から
【バンドの部】
令和8年3月8日(日)
午後1時から

場所

串本町文化センター 大ホール

ジャンル

器楽・詩吟・邦楽・民謡・吹奏楽
・コーラス・バンド 他



参加資格

串本町内に在住する個人またはグループ(町外に在住する方でも、町内のグループに所属している方は参加できます。)

※カラオケは全体で3組までとし、申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

演奏時間等

【器楽・合唱等の部】
1 団体8分以内
カラオケは1曲(2コーラス迄)
【バンドの部】
1 団体25分以内



参加申込

〈申込先〉

串本町教育委員会 教育課
0735(67)7260

〈申込締切〉

1月19日(月) 午後5時まで

リハーサル

【器楽・合唱等の部】

2月27日(金)

午後6時30分～午後9時30分

2月28日(土)

午前9時30分～午後9時30分

【バンドの部】

3月6日(金)・7日(土)

出場数に応じて調整予定

その他

○申込締切後、出場グループによるプログラム編成会議を行います。
○応募状況により、開催日程等を変更する場合があります。



第21回 串本町民総合展

11月7日から9日まで、文化センターと町立体育館で串本町民総合展を開催しました。

この総合展は、町民の美術に関する愛好心と、鑑賞力を啓発し、美術作品の創造意欲を盛んにするとともに、町の文化向上、発展に資することを趣旨として毎年開催しています。

生花・押し花・山野草・フラワーデザイン・書道・俳句短冊・手芸・切り絵・ちぎり絵・俳画・写真・工芸・絵画など、様々なジャンルの作品が760点以上出展されました。

今年も串本古座高校書道部の出展があり、最終日には書道部が町立体育館の会場にてパフォーマンスを披露し、観客を楽しませてくれました。

3日間で延べ1436人が来場し、多種多様な芸術文化を鑑賞されました。



第8回 串本町ビブリオバトル大会

11月1日に町役場会議室にて、第8回ビブリオバトル大会を開催しました。

ビブリオバトルは、発表者（バトルラー）が、おすすめの本の魅力を5分間のプレゼンテーションで紹介し、「どの本が一番読みたくなったか」を基準に観客（オーディエンス）が投票を行い、「チャンプ本」を決める書評合戦です。

この日は中学生7人と高校生2人が本の紹介を行い、中学生の部は甲山ジェシユアさん（串本中学校3年）が紹介した「変身」（フランツ・カフカ）が、高校生の部は渡部拓宙さん（串本古座高校2年）が紹介した「今夜、もし僕が死ななければ」



渡部 拓宙さん（高校生の部チャンプ本受賞）



甲山 ジェシユアさん（中学生の部チャンプ本受賞）

（浅原ナオト）がそれぞれチャンプ本に選ばれました。

また、高校生の部準チャンプ本には、川野煌真さん（串本古座高校1年）が紹介した「Dr・STONE 2 声はミライへ向けて」が、中学生の部準チャンプ本には小川悠葉さん（西向中学校3年）が紹介した「空白小説」（氏田雄介ほか）が選ばれました。

チャンプ本に選出された2名は、12月21日に開催される県大会へ出場する予定です。

9名の発表者（バトルラー）と紹介本は次のとおりです。（順不同）
「一次元の挿し木」

串本中学校3年

大内 創太



「変身」

串本中学校3年 甲山ジェシユア

「名探偵のままでいて」

串本西中学校2年 立野 愛梨

「口訳 古事記」

串本西中学校2年 金谷 若葉

「火垂るの墓」

潮岬中学校3年 甲山 武

「佐賀のがばいばあちゃん」

潮岬中学校3年 山崎 春翔

「空白小説」

西向中学校3年 小川 悠葉

「今夜、もし僕が死ななければ」

串本古座高校2年 渡部 拓宙

「Dr・STONE 2 声はミライへ向けて」

串本古座高校1年 川野 煌真

ジュニア駅伝

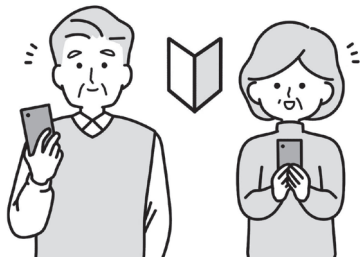
チーム練習開始



来年2月8日（日）に和歌山市で開催される第25回市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に向けて、串本町チームの全体練習がスタートしました。今年もジュニア駅伝OBの松下大祐さんに監督を務めていただき、現在31名のメンバーで取り組んでいます。昨年の大会では、参加29市町村中12位と健闘しています。

第25回大会でも良い結果を出せるよう、選手たちは毎週練習に励んでいますので、応援よろしく願います。

はじめてのスマホ講習会お知らせ



- 初心者でも安心してスマホ操作について学べる講習会です。
- 「総務省指定の研修を受けた講師」が丁寧に説明します。
- 販売行為はありません。ご安心ください。

串本町文化センター

月	日	講座番号	時間	講座内容
1月	13日（火）	①	9:30～10:30	地図アプリを使おう
			10:45～11:45	串本町LINE公式アカウントの紹介
		②	13:30～14:30	新しくアプリをインストールしてみよう
			14:45～15:45	マイナポータルを活用しよう
	16日（金）	③	9:30～10:30	メッセージアプリを使おう
			10:45～11:45	デジタルリテラシーを身に付けて安心・安全にインターネットを楽しもう
		④	13:30～14:30	電話、カメラを使おう
			14:45～15:45	串本町LINE公式アカウントの紹介

Sora-Miru(串本町役場 旧古座分庁舎)

月	日	講座番号	時間	講座内容
1月	19日（月）	⑤	9:30～10:30	新しくアプリをインストールしてみよう
			10:45～11:45	串本町LINE公式アカウントの紹介
		⑥	13:30～14:30	地図アプリを使おう
			14:45～15:45	全国版救急受診アプリ（Q助）で病気やけがの緊急度を判定しよう
	20日（火）	⑦	9:30～10:30	メッセージアプリを使おう
			10:45～11:45	串本町LINE公式アカウントの紹介
		⑧	13:30～14:30	電話、カメラを使おう
			14:45～15:45	スマートフォンを安全に使うための基本的なポイントを知ろう

潮岬公民館

月	日	講座番号	時間	講座内容
1月	26日（月）	⑨	9:30～10:30	地図アプリを使おう
			10:45～11:45	串本町LINE公式アカウントの紹介
		⑩	13:30～14:30	メッセージアプリを使おう
			14:45～15:45	ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう
	27日（火）	⑪	9:30～10:30	新しくアプリをインストールしてみよう
			10:45～11:45	串本町LINE公式アカウントの紹介
		⑫	13:30～14:30	メッセージアプリを使おう
			14:45～15:45	スマートフォンを安全に使うための基本的なポイントを知ろう

【ご予約・お問合せ先】

予約受付センター（受付時間：10:00～18:00 ※平日のみ）

TEL:0120-578-360

◆ご予約・お問い合わせの際は串本町の自治体管理番号（727）と、ご希望の講座番号をお伝えください。

公民館職員表彰

和歌山県公民館優良職員表彰及び和歌山県公民館永年勤続者表彰を、有田支館主事の岩谷吉啓さんが授与されました。

この表彰は、公民館における活動により地域の人々の幸せのために貢献された方に対し、和歌山県公民館連絡協議会が表彰しています。

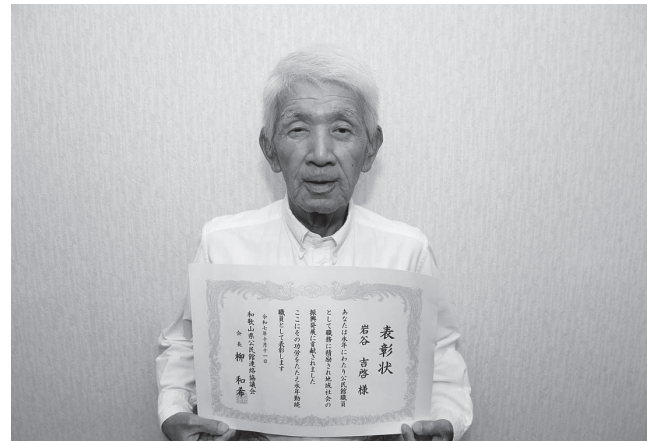
岩谷さんは、平成27年4月から現在に至るまで有田公民館支館長及び主事として有田地域に根差した公民館活動に取り組まれ、地域住民の交流の発展と生涯学習の充実に長年にわたりご尽力されています。

文化の日表彰

串本町文化の日表彰を、村上直明さん(81)が授与されました。

この表彰は、公共の福祉増進に功勞のあつた方や、広く町民の模範となる方等の功績をたたえることを目的として行われています。

村上さんは、社会教育委員会委員長及び委員を29年にわたり務められたほか、図書館協議会委員長及び委員を26年にわたり務められるなど、生涯学習・社会教育の振興及び図書館の利用促進・読書活動の推進に長年にわたりご尽力されています。



令和7年度

串本町秋季グラウンド・ゴルフ大会

10月27日に県立潮岬青少年の家にて秋季グラウンド・ゴルフ大会を開催しました(町グラウンド・ゴルフ協会・町体育協会・町教育委員会主催)

大会は、グラウンドに設営した16ホールのコースを2周する形で実

施。愛好者113人が個人成績を競い、参加者のみなさんはそれぞれにプレーを楽しんでいました。なお、上位入賞者については次のとおりです。(氏名右の数字はスコア・ホールインワン数)

男性の部

1位	浅井 信之	61	4
2位	元平 忠夫	70	3
3位	竹田 正俊	73	3
4位	沼井 洋一	74	1
5位	平澤 正	74	1
6位	大岡 建	74	0
7位	河田 一夫	75	2
8位	松本 直俊	75	2
9位	濱口 智道	75	2
10位	速水 洋治	77	1

女性の部

1位	友宗佐江子	75	1
2位	小山 良子	76	3
3位	前山 眞弓	76	2
4位	宮本 裕子	77	2
5位	尾崎 嘉子	78	3
6位	土井 俊枝	78	1
7位	柿田 博子	78	1
8位	嶮口 多鶴	79	1
9位	金田喜世美	80	2
10位	安井よし子	80	2



男性の部上位3名



女性の部上位3名



灯台

「原体験の大切さ」

1998年夏の暑い日、私は読売新聞の男性記者と二人で、京都府八木町（現南丹市）の農村地帯を訪れていた。

画家や絵本作家として、自給自足の生活を送りながら創作に取り組む田島征彦さんにインタビューをするためだ。

読売新聞では1998年、「読者の夢インタビュー」というコーナーを掲載していた。読者から会ってみたい著名人を募り、実際に会わせて対談させる企画。私がこのコーナーに応募したことがきっかけで、インタビューが実現した。

征彦さんは1940年、大阪府堺市生まれ。京都市立美術大学染織専攻科を修了後、絵本作品を次々に発表し、『祇園祭』（1971年、童心社）で第6回ブラチスラバ世界原画展金牌を受賞した。

1978年には『じごくのそうべえ』（童心社）で第1回絵本につばえ賞を受賞。

この絵本は軽業師の「そうべえ」らが、地獄の責め苦を巧みに切り抜けるながら活躍するお話で、物語は落語家・桂米朝の上方落語を下敷にしたという。征彦さんは現在までに、

約30冊の絵本を製作している。

征彦さんは、当時同じく絵本作家として活躍していた弟・征三さんと一卵性双生児。二人は共同作品も複数発表している。このことが、同じ一卵性双生児の妹として育った私の興味を惹いた。

ご自宅に着くと、征彦さんが温かく迎えてくれた。畑に面したご自宅の縁側で、インタビューが始まった。

私はまず、絵本製作の工程について伺った。

征彦さんによると絵本のテーマを決めてから数年間に及ぶ取材を経て、製作に着手するという。

製作には型絵染や、孔版画の技法「シルクスクリーン」のほか、線などを使って表現する「ドローイング」など複数の技法を組み合わせる。

型絵染の工程は、まず模様の下絵を「渋紙」という丈夫な和紙に貼り、その上から彫って型紙を作るこの型紙の上にもち米を主原料とする防染糊を置き、丁寧に色をさしていくことで、意図した模様に染め上げる。

複数の技法を組み合わせて完成した絵本には、そうべえをはじめ、過酷な状況の中、たくましく生きる人々の物語が力強いタッチで描かれている。

私は当時幼稚園に通っていた息子に『じごくのそうべえ』を読み聞かせると、目を輝かせて聞き入っていたこと、そして親として息子に対し「そうべえのように、プラス思考で困難を乗り越えて行ってほしい」という願いを持っていることを征彦さんに伝えた。

私の印象に残っている作品にもう一つ、二人が1945年の敗戦後に移り住んだ、農村での少年時代をテーマにしている征彦さんと征三さんの共同作品『ふたりはふたご』（1996年、くもん出版）がある。

お互いの存在や、感情の機微が絶妙に描かれていて、姉と私の子供時代と重なり、深く感動した作品だ。

征彦さんは『ふたりはふたご』にまつわる当時の思い出を語ってくれた。

山村での生活はつらく悲しいこともあったが、征三さんと二人で野山を駆け回ったり、魚を取ったりしたことが、今も大切な思い出になっているという。そして当時から木切れを使い、山の鳥や獣の絵を描いていたエピソードも教えてくれた。

この作品も型絵染やドローイングを駆使し、少年時代に見た豊かな自然を色鮮やかに表現している。征彦さんの他の絵本や著作からも伝わってくるのは、自然環境に対する強い思いだ。

征彦さんによると、小学校高学年になって農村を去る頃、ドジョウを捕りに川へ行くと水がオレンジ色に染まり、魚が水面に浮いていたのだという。

という。

日本が戦災復興に邁進し、食糧増産に向けて各地で農薬が使われたり、工場が稼働したりした時期だった。幼いころから慣れ親しんだ自然が急激に姿を変えていく様は、幼かった征彦さんに強いショックを与えたといい、自然に敬意を払いながら、共生していくことの大切さを話してくれた。

インタビューが終わった後、征彦さんが耕す畑を案内してもらった。

鶏やホロホロチョウ、ウサギなどが飼育されていて、水田にはアイガモが悠々と泳いでいた。

征彦さんが親しんだ農村の自然……それを再現したような環境は、幼少期の原体験を思い出させ、想像力を喚起する、彼にとってなくてはならない物だったのかもしれない。

幼いころの原体験が、人の想像力に与える影響を実感したインタビューだった。

それから27年。

私にも今年孫が生まれ、あと数年もすれば、再び絵本を選んだり、読み聞かせたりする時期が訪れる。

どんな環境でどんな作品に触れてもらえば、孫にとって実りある原体験になるだろうか。今からじっくり考えておきたい。

（阪本 良子 編集委員）

子ども園児・小学生のみなさんへ

クリスマス会のご案内

日時 12月20日(土)

10時00分から

場所 串本町立体育館

ゲームやレクリエーションなどの楽しいプログラムを用意しています。

いっしょにクリスマス会を楽しみませんか。

みなさんの参加をお待ちしています。

サンタさんから
プレゼントもあるよ!

※未就学児は保護者同伴で来てください。

主催：串本町こども会連絡協議会

共催：串本町教育委員会

教育課よりお知らせ

令和8年

二十歳の集い

令和8年1月3日(土)

13時00分～(受付12時30分～)

式典会場：串本町文化センター・町立体育館

対象者：串本町出身者、串本町に住民登録のある方

平成17年4月2日から

平成18年4月1日までに

生まれた方



お問い合わせ：串本町教育委員会 TEL.0735-67-7260